

取扱説明書

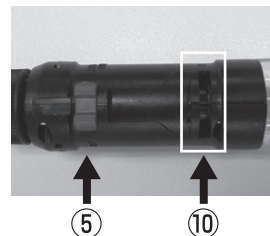
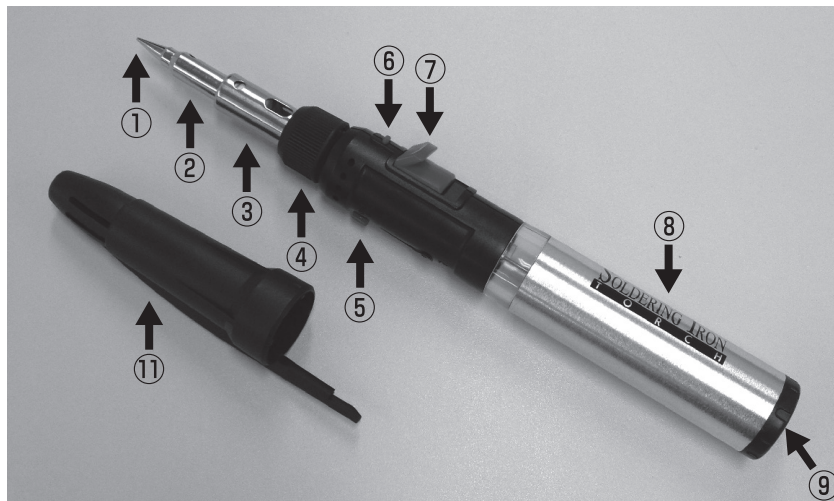
モナロウ ガス式半田こて(自動着火)

注文コード:24735069

このたびは、ガス式半田こて(自動着火)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

1 各部の名称

① こて先
② ホットブローアタッチメント
③ トーチスリーブ
④ 固定ネジ
⑤ スイッチロック
⑥ チャイルドロック
⑦ スイッチ
⑧ ガスタンク
⑨ ガス充填口
⑩ ガス調整レバー
⑪ キャップ



2 仕様

方式:ガス触媒発熱式・自動着火式(点火機構内造)

使用ガス:ガスライター用ボタンガス(別売)

使用時間:約60分(ガス調整レバーを2と3の中間に設定した場合)

※使用条件により使用時間は異なります。

出力:半田こて:最高約450℃(電気半田こて30~100W相当)、直火トーチ:1300℃

サイズ:全長247mm

重量:115g(キャップ含む)

付属品:こて先、ホットブローアタッチメント、キャップ

用途:半田づけ、プラスチックなどの熱切断、温風やトーチによる加熱

別売品:こて先は消耗品です。こて先が丸くなったり、半田がのりにくくなったりした場合は、別売のこて先に交換してください。

交換用こて先:注文コード 59778827



警告

着火した状態で、または使用直後にこて先を交換すると、ヤケドや火災の原因となり危険です。必ずON/OFFスイッチをOFFにし、本体やこて先が手で触っても熱くない状態まで冷めてから交換してください。

3 安全にお使いいただくために

使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、本製品の使用方法をよく理解してからご使用ください。

警告・注意事項をよく守り、安全に十分配慮してご使用ください。取扱いを誤ると、重大な事故につながるおそれがあります。



警告

この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

- 本製品の分解、修理、改造は絶対にしないでください。
守らないと正常に作動せず、人体への傷害や本製品の故障、作業をする対象物の破損など、重大な事故の原因となります。
- 用途以外の使用は、ケガや事故の原因となるので、必ず用途に合った使い方をしてください。
- 使用する際、作業周辺に他の人を近づけないようにしてください。特にお子様は、絶対に近づけないでください。
- 本製品を安全に使用するため、安全手袋、耳栓やイヤーマフ、安全帽、安全靴、作業ツナギや長袖長ズボンなど保護具、保護衣を着用してください。
- 握り部以外は、高温になりますので、絶対に触れないでください。ヤケドや事故の原因となり危険です。
- 着火状態で、手や指、顔、身体などに近づけたり、人や動物に向けしないでください。ヤケドや事故の原因となり危険です。
- 着火状態で、紙や木などの燃えやすい物を近づけたり、燃えやすい物に近づかないでください。火災など、事故の原因となり危険です。
- 作業を中断するときや使用後は、必ずスイッチをOFFにしてください。
スイッチをOFFにせず、着火状態で放置すると、火災などの事故の原因となります。
- 本製品に異常を感じた場合は、速やかに使用を中止してください。異常に気が付いた場合は、弊社お問合わせ窓口へご連絡ください。



注意

この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

- 水を掛けて、冷却しないでください。水を掛けると、本製品の故障原因となりますので、必ず自然冷却してください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどの有機溶剤は、本製品のプラスチック部分を損傷させます。有機溶剤を使用しての清掃はしないでください。

4 使い方

■ガスの注入・補充

- 警告**
- 燃料は、必ずライター用ボタンガスを使用してください。他のガスの使用は、火災や爆発などの重大な事故の原因となり、大変危険です。
 - 燃料ポンペ(ボタンガス)の取扱いは、必ず燃料ポンペ(ボタンガス)側面に明記されている内容に従ってください。取扱いを誤ると、重大な事故の原因となります。
 - 使用するガスは、引火性が高く、火気の側や、火気を近づけた状態で注入すると、火災や爆発など、重大な事故の原因となります。
 - ガスを注入するときは、火気の側から離れ、火気を遠ざけてください。
 - 過度にガスを吸引すると、麻痺症状や酸素欠乏により窒息死します。ガスを注入するときは、必ず通気がよく換気のできる場所で、行ってください。
 - 着火した状態(スイッチON)、または使用直後にガスを注入しないでください。火災や爆発などのおそれがあります。
 - 必ずON/OFFスイッチをOFFにして消火し、こて先や本体が十分に冷えてから注入してください。
 - 着火せずに、ガスを出した状態で放置しないでください。ガスの吸引は、麻痺症状や酸素欠乏を引起し、最悪の場合窒息死に至るおそれがあります。

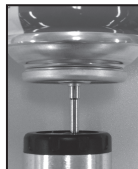
1. ON/OFFスイッチがOFFであることをご確認ください。
2. こて先が下、充填バルブが上になるように本体を垂直に立てて置きます。

- 警告** ●必ず充填バルブを上に向けて注入してください。充填バルブを下に向けると、ガスは注入できません。逆噴射することがあり危険です。

3. 充填バルブに、ガスポンペのノズルを垂直に差込んで注入します。

- 注意** ●満充填されると余分なガスは溢れますので、ガスを溢れさせないように注入してください。

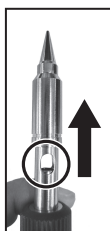
4. 2～3分そのままの状態にして、注入したガスを安定させます。



■半田こてとして使う

- 警告**
- 半田づけの際に発生する煙には、人体に有害な物質が含まれています。防塵マスクを着用し、煙を吸込まないように十分ご注意ください。
 - 必ず保護メガネを着用し、作業してください。溶けた半田が目に入ると、失明するおそれがあります。

1. 背面のガス調整レバーを2または3の位置にします。
2. チャイルドロックを押しながら、スイッチをゆっくり下げます。
3. 点火後その状態を保持し、スイッチロックをスライドさせてスイッチをロックします。
4. 10秒ほど待ち、排気口の中が炭火のように赤くになったら(赤熱化)、使用可能です。



- 注意** ●必ず炎が消えた状態で使用してください。炎が付いたまま使用すると、触媒が劣化して使えなくなります。その場合はいったんON/OFFスイッチをOFFにして消火し、点火し直してください。

5. 背面のガス調整レバーで火力(こて先の温度)を調節します。

- 警告** ●作業中、半田が垂れないよう、十分ご注意ください。溶けた半田は非常に高温なり、触れるとヤケドするおそれがあります。

- 注意** ●基板など半田つけするものに半田こてを長時間あて過ぎないようにしてください。基板が焦げたり、物が損傷するおそれがあります。

6. 使用後は、ON/OFFスイッチをOFFにして消火します。

- 注意**
- 使用後は必ずこて先を清掃してください。清掃を怠ると、こて先に不純物が付着し、半田づけ不良の原因となります。
 - こて先はヤスリ掛けしないでください。メッキがはげて、半田がのらなくなります。

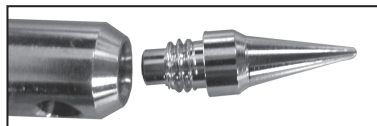
7. こて先が完全に冷えたことを確認し、適切に保管してください。

■ホットブローとして使う

1. 半田こて先端のこて先(チップ)を取外します(ネジ式で簡単に取外せます)。こて先を外した先端から熱風が出て、ホットブローとして使用できるようになります。
2. 半田こてと同様の手順で操作してください(「■半田こてとして使う」をご覧ください)。

- 注意** ●点火は必ず点火口で行ってください。先端で行わないでください。

3. 使用後は先端が完全に冷えたことを確認し、適切に保管してください。



■トーチとして使う

1. 固定ネジをゆるめて、ホットブローアタッチメントを取外します(トーチ使用時の状態になります)。
2. 背面のガス調整レバーを2または3の位置にします。
3. チャイルドロックを押しながら、スイッチをゆっくり下げます。
4. 点火後その状態を保持し、スイッチロックをスライドさせてスイッチをロックします。
5. 背面のガス調整レバーで炎の大きさを調節します。
6. 使用後は、ON/OFFスイッチをOFFにして消火します。
7. ノズルが完全に冷えたことを確認し、適切に保管してください。



5 保管

本製品はボタンガスを使用します。保管の際は以下の点にご確認ください。

⚠ 警告

- 使用後は本製品が完全に冷えたことを確認し、清潔で安全な場所に保管してください。
 - お子様の手の届かない、施錠できる場所に保管してください。
 - 直射日光の当たる場所や、40℃以上の高温になる場所に保管しないでください。
- 守らないと爆発や火災の危険があります。特に夏期の中車内は高温になることがあるためご注意ください。